



Main Contents

- ・かとう市民の集い特集
- ・上勝町ごみゼロ視察記
- ・ストップ・ザ・地球温暖化
- ・農園初体験の感想
- ・生ごみコンポスト奮闘記

かとう市民の集いへの想い

加東エコ隊長 石田れい子

「子どもとともに考える環境と未来」をテーマに掲げ、米田・東条東小学校のご協力を得ての環境発表。場内の目が耳が舞台の子どもたちに注がれました。陰の力となり共に作り上げて下さった先生方、そして子どもたちの発信力に頭が下がります。本当に有難うございました。

会場に足を運んで下さいました皆様、いろんな形でご協力頂きました皆様、集いに向けて共に歩んで頂きました実行委員の皆様方に改めて御礼申し上げます。

環境と言う大きなくりの中で、今出来ること、すべき事を我が頭で考え行動を：：そして楽しむ事が環境問題と長く付き合うコツかと：：自身の為、大切な誰かを守る為に行動を：：そして楽しむみましょう。



むかし遊び

加東市老人クラブ連合会会長

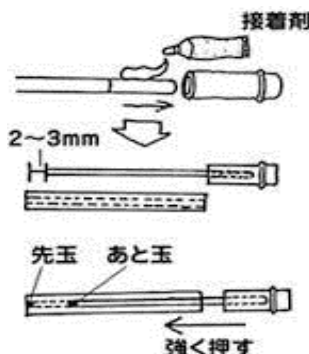
臼井律夫

今回の「かとう市民の集い」では、小学生が体験する昔遊びコーナーを担当させてもらった。大勢の子どもたちと遊んでいるうちに、懐かしい昔を思い出した。

春には、杉花粉と大騒ぎされた杉の木の実が売った。

子どもの頃には、現在のように遊び道具など店には売ってはいない。遊び道具は、自分で作るしかなかった。女子竹のある竹やぶへ行つて、ノコギリ、鎌で竹を切り家に持ち帰る。自転車のスポークを軸にして竹筒の片方は節を残し他方は切り取り、7対3ほどにナイフで切り、杉の実を玉にして杉鉄砲を作った。

時にはナイフで怪我をすることもあったが、同じ怪我を二度とすることはなく、誰も上手にナイフを使うようになり、学校で使うエンピツなども自分で削った。杉鉄砲での撃ち合いも、ほっぺに当たると痛かったことが懐かしく思い出される。



活動発表に参加して

今回のかとう市民の集いのメインイベントである二校の活動発表に参加して頂いた保護者と児童に感想を寄せて頂きました。

【東条東小学校】

●三年 谷上琴菜

わたしは、八月十一日「わくわく東条川学習」の発表をしました。わたしが一番がんばったことは、声をしっかり出すことです。なぜかというと、小さな声では、お客さんに伝えたいことが伝わらないからです。わたしは、プラナリアのすごい力についてクイズを出しました。たくさん手をあげてもらえたのでうれしかったです。たくさんれん習して本番でせいこうしたのでうれしかったです。楽しかったです。

■保護者 田處由美子

東条東小学校の校歌にもある、私達に身近な東条川。発表を興味深く拝見しました。川遊びで見つけた多くの水生生物の特徴や捕まえ方、どんな場所に成育しているのか、詳しく発表してくれました。疑問に思ったことは実験をし、三橋先生に質問したりして理解を深めたそうです。プラナリアという水生生物が、切られても死なない！という発表には、みんなとてもびっくりしました。生物の生態についてよく研究しているのがわかりました。三択クイズは会場のみなさんで楽しみました。東条川に住む水生生物が元気にこれから暮らせるためには、どうすればよいかを、次に学習するそうです。誰もが川への関心を持ち、きれいな川をいつまでも守っていききたいと感じました。



【米田小学校】

●四年 堂下心優

わたしは、八月十一日の加東のイベントに行きました。こんな発表は、学習発表会でしかやったことがなかったのですが、すごくきんちょうしました。はじめは、なかなかセリフがおぼえられなかったけれど家でしっかり練習しておぼえることができてよかったです。本番では、東条東小学校の子も来ていました。お父さん、お母さんも来てくれてうれしかったです。

米田小学校の

三、四年生は、環境体験学習のことを発表して、はじめてだったけど、いい体験になったのでよかったです。

■保護者 白國真由美

去る八月十一日、滝野文化会館で、今までやしろの森公園で環境について学習してきた事を発表する貴重な体験をさせて頂いたことは、子ども達にとってもとても良い機会だったと思います。大勢の人が見に来られている中で堂々と、大きな声でしっかり発表している姿に感動し、よく調べ学習していることにびっくりしました。やしろの森公園へ学習に行くたびにお弁当を作りましたが、この発表を聞いて、こんなに学習してくれている事にうれしく思いました。



かとう市民の集いの裏方をして

加東エコ隊 北原 豊

かとう市民の集いにおいて、私は裏方をしました。準備の段階からいつしか会館の片隅でエコな昔遊び（竹馬、お手玉、けん玉）をすることになり、けん玉調達を担当。ネットで日本けん玉協会の存在を知り、そのデータベースにより三草小学校にけん玉があることがわかった。三草小学校と交渉の結果、けん玉20本（なんとけん玉は本と数える）をレンタル（助け合いで経費が削減できました）。市民の集い当日、空き時間にけん玉係を担当。荷物運びなどの裏方をしつつ客席を見ると満員御礼。動員なしでこれだけの大人の参加があるのは、すごい。

その後、持ち場で、私はと姉ちゃんのような優しいまなざしを小学生にむけると、けん玉は大盛況。大人の参加者にも挑戦してもらったが、フォー・ザ・ファースト・タイム・イン・ヒズ・ライフ（生まれて初めて）のため、絶好調とはいかなかった。

しかし、何度か挑戦するうちに、最後には剣先で見事に玉の穴をとらえた。まるでドラマのワンシーンのようであった。そのあと最高の笑顔をもたらした。

裏方万歳！



上勝町「みゼロ」活動視察報告

加東エコ隊 平川 米一

「上勝町にはごみ収集車はありません。」今回の視察で一番驚いたことの一つです。上勝町では収集車のごみを収集するのではなく、家庭から出たごみは、町民が自らステーションに持ち込み、三十四種類に分別しています。加東市もかなり分別は進んでいますが、上勝町では、蛍光灯は割れたものと割れていないものに分別、割りばし、紙おむつに至るまで更に細かな分別となっています。さらに日本で初めて、ゼロ・ウェイスト（二〇二〇年までに焼却ごみと埋立ごみを無くす最善の努力をする）を宣言しています。

上勝町の人口は約一六〇〇人、毎年減少しており、高齢化率は五十二%と、四国で最も人口が少なく、徳島県内で高齢化率が最も高い町です。しかし「葉っぱを売る」というユニークな発想から、今や年商二億六〇〇〇万円を超えるまでになった「葉っぱビジネス」で一躍、世界が注目する町になりました。

パソコンやタブレットを使う元気なおじいちゃん、おばあちゃん、葉っぱという高齢者にも取り組める仕事で、忙しくなり町営の老人ホームが無くなったとか。この町ならではの「ゼロ・ウェイスト」は実現可能なのではないかと思えてきました。大に刺激を受けて、学ぶことの多かった視察でした。



ストップ・ザ・地球温暖化

加東エコ隊 竹内正子

今夏の暑さは格別でした。連日の猛暑、豪雨等、最近の極端な気候の変動には、地球温暖化が大きく影響しているといわれています。加東エコ隊は、地球温暖化防止に貢献できる夏の緑のカーテン普及事業を推進しています。三月、ゴーヤの種を一粒一粒入れた千あまりのポットを用意しました。交代で水やりをした結果、ポット苗は順調に育ちました。五月半ばから希望のあった学校や園、事業所等、十八ヶ所に届けることができました。残りの苗は、春に開催した花き盆栽展で市民の皆さんにお渡しし、緑のカーテン作りに協力して頂く事にしました。訪問した学校や園では、子ども達と一緒に植え方や育て方について学習し、植え付けを完了しました。ご協力ありがとうございました。「広めよう！ストップ・ザ・地球温暖化！」

農園初体験

上滝野

内藤泰樹



私は野菜作りが好きで、狭い自宅の庭で、きゅうりやプチトマトなどを作っていました。もともと作ってみたいと思い、広報に載っていた貸し農園に応募しました。

最初にさつまいもを植えました。水やりをさぼったため一本残るのみ。なすは豊作。我が家の食卓に麻婆なすや焼きなす、素あげなどが並び、食卓に彩りをそえました。次に子芋に挑戦。収穫を待つのみです。子芋は私の好物で来年は、もつとたくさん作ろうと意気込んでいます。いい事ばかり書きましたが、貸し農園での苦勞もありました。土に保水性がなかった為、夏に作物の水やりに大変しんどい思いをし、また、草だけは、勢いを増すので草刈りも励みしました。大変なことも多々ありましたが、文字どおり実りのある貸し農園体験となりました。まだ農園の空きスペースもあるので、皆さんいかがですか。

生ごみコンポスト四年…

加東エコ隊 近松照芳

時々、私一人がチマチマと生ごみの堆肥化をやっている何になるのだろうと微力さを感じるときがある。四年やっけても時々、忘れる時があり、妻から「お父さんに言うてもすぐしてくれへんし、匂いがしてくるし…」と苦情を聞くのである。毎日一回は、生ごみが入った土のう袋を振って攪拌(かくはん)することが成功のコツである。私は、ダンボール箱に土のう袋の底を浮かして入れて、軒下で雨がかららないように堆肥を作っている。土のう袋を二個作って、新しい袋と少し古い袋を適当に入れ替えながら回転させている。

異常気象もいよいよ本格化し、ゲリラ豪雨、四十度近い猛暑など、身近に切迫してきた。母なる地球は苦しんでいる、心ある同士の参加を是非ともお願いしたい。

故、岡原一夫様を偲ぶ
会員の岡原一夫様が、9月に他界されました。
常に何事にも全力で一所懸命な方でした。今までの活動に心より感謝します。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。故人の安らかなるご冥福を心よりお祈りいたします。「常行一直心」



“イベント情報”

- 秋のフェスティバル(菊花盆栽展)
 - ・生ごみ堆肥化セット無料配布!
 - 土のう袋・基材・マニュアル
 - ・緑のカーテンフォトコンテスト展示・表彰
 - ・エコドライブ体験、展示など

■日時 H28年 10月29日~30日(土日)
午前10時~午後4時
■場所 やしろステラパーク
加東エコ隊フース

加東エコ隊事務局からのお知らせ

- 一緒に楽しく活動できる仲間を募集しています!
- 年齢、性別関係なし。20~70歳代までおられます。
- 企画から実践までを、みんなで話し合いながら楽しく行います。
- 会費は、無料です。

加東エコ隊事務局 事務長 平川米一
連絡先 電話: 090-8821-4062
本部事務局 市民生活部生活課

両校の発表を聞いて

加東市教育委員会 学校教育課

副課長 藤原路寛



米田小学校

米田小学校は、やしろの森公園に生育する生き物や植物を採集し、感じたことを発表しました。児童は、ザリガニの食べ物や卵の数を調べたり、タケノコをゆでて食べ

たりするなど、貴重な体験をしました。

東条東小学校は、東条川に住む水生生物を調べ、川の水質について考えたことを発表しました。児童は、カワゲラやプラナリアなどの特徴を知ったり、川のゴミと環境の関係に気づいたりするなど、深い学習を行いました。これらの体験を通して、両校とも、クイズや寸劇を入れながら大きな声で堂々と表現する姿に感心しました。

私たち大人も「命の大切さ」を改めて感じるよき機会となりました。



東条東小学校

小学生による環境発表について

加東市環境パートナーシップ企業
富士通周辺機株

総務部 藤井哲夫



第2回かとう市民の集いへ、環境パートナーシップ倶楽部の参加企業として、今回、企画段階より参加させていただきました。

当初、小学生による、環境発表については、私個人としては、どのような発表になるかと不安な気持ちが大半でした。

それは、このような発表を、社会一般で見える場合、専門家がパワーポイント等による説明を聞くという固定観念があったためです。

しかし、今回発表した小学生は、今時のプレゼン資料ではなく、自分たちの体験自体を劇風にし、発表していたことに驚きました。

劇風にすることで、子どもたちがどのような体験をし、また考えたのかがよく分かり、皆さんに伝わったと思います。

大変よくまとめられた発表だったと思えました。



小学生の大活躍に感動

加東エコ隊 芹生 強

先の「かとう市民の集い」で、米田・東条小学校の児童による劇がありました。おもしろく、大変意義のある演出をして頂きました。「環境」を考えた時、地球的課題から、私たちの身近な生活まで実に幅広く、話がどうしても抽象的になりがちです。

今回の企画では、学校での自然観察の体験の中で、子どもたちが素直に感じた山や川での発見を劇風に表現したり、クイズで問いかたりして面白く演出してくれました。

また、パネルディスカッションでは、講師の先生も、会場の子どもたちに楽しく語りかけて下さいました。

子どもたちを通して環境のことを考え、私たちが実行していくことが大切だと、あらためて心に誓いました。

